



東濃厚生病院

Hospital public relations magazine

VOL.126

発行者／JA岐阜厚生連 東濃中部医療センター 東濃厚生病院
所在地／〒509-6101 岐阜県瑞浪市土岐町76番地 1
TEL／0572-68-4111
FAX／0572-68-8934
URL／http://www.tohno.gfkosei.or.jp

すこやか

Content

● 医療を伝える

年頭のご挨拶

会長 堀尾 茂之／病院長 塚本 英人

● ニュース&トピックス

・新病院建設の進捗状況

すこやか 外来診療担当表

担当医の出張などにより休診、代診となる場合があります。又診療曜日は変更となることがありますので、事前にご確認ください。

診療科目		月	火	水	木	金
内科	3診	野坂博行 (呼吸器)		山口 満 8:30～11:30	野坂博行 (呼吸器)	奥村健二
	4診	寺町友里 (腎臓)	伊藤和則 (腎臓)		澤崎貴子 (腎臓)午後	伊藤和則(1・3・5) 寺町友里(2・4)(腎臓)
	5診	代務医	北村柁騎	安藤 操 (内分泌)	代務医	寺田良磨(AM) 北村柁騎(PM)
	6診		代務医	塚本英人 (循環器)	代務医	代務医
	8診	飯島淳司	代務医	笠原嵩翔 (呼吸器)	柴田尚宏 (呼吸器)	代務医
	9診	岩田憲吾(2・4) (消化器)	長屋寿彦 (消化器)	吉田正樹 (消化器)	横山敬史 (消化器)	宮地 達郎 (1・3・5)
	10診	長屋寿彦 (消化器)	宮地達郎	横山敬史(1・3・5) (消化器)		岩田 憲吾 (消化器)
救急 (初診)	第1・3・5週	岩田憲吾	笠原嵩翔	伊藤和則	寺町友里	飯島淳司
	第2・4週	北村柁騎	柴田 尚宏	横山敬史	長屋寿彦	宮地達郎
神経内科			加藤秀司	加藤秀司	加藤秀司	加藤秀司
小児科		代務医	代務医	代務医	代務医	
外科	1診	山家 豊	田中 卓	大谷 聡	山家 豊	大谷 聡
	2診	岡崎泰士	稲熊 凱 乳腺外来9:30～10:30	山本希誉仁 (血管外科)	田中 卓	野本峻二郎
	午後		石橋宏之 (血管外科) 15:00～16:00	稲熊 凱/ 豊田 千裕 乳腺・内分泌外科	福井高幸(1・3) 呼吸器外科 13:00～	宮嶋則行 乳腺外来 13:30～15:30
整形外科	1診	(手の外科) 代務医 9:30～11:30	佐藤 央	岸本烈純 9:30～	大間知孝顕	村瀬史典
	2診	村瀬史典	大間知孝顕	大間知孝顕	佐藤 央	柏原 学
	3診	柏原 学	平石 孝	柏原 学	村瀬史典	岸本烈純 9:30～
	4診	平石 孝			石塚なお子	
脳神経外科				代務医		
皮膚科	1診	稲垣克彦	稲垣克彦	稲垣克彦	代務医	代務医
	2診				稲垣克彦	
形成外科						代務医 形成外科(1)(AM)
泌尿器科	1診	濱本幸浩	濱本幸浩	代務医	代務医	代務医
産婦人科	1診	石渡寿勝	石渡寿勝	石渡寿勝	石渡寿勝	石渡寿勝
	2診	青山航也	青山航也	青山航也	青山航也 9:00～	
眼科	1診	白木玲子	白木玲子	白木玲子	金田正博 代務医	白木玲子
耳鼻咽喉科	1診	代務医	代務医	休診(1・2・3・5) 代務医(4)	代務医	代務医
	2診			休診(1・2・3・5) 稲福 繁(4)		
放射線科		可児裕介	可児裕介	可児裕介	可児裕介	可児裕介
人間ドック 診察	第1・3・5	山瀬裕彦	野坂博行	山瀬裕彦	安藤 操	柴田尚宏
	第2・4		吉田正樹		吉田正樹	安藤修久

2025年1月1日現在

専門・特殊外来

内科

フットケア外来

第1週金曜日／
9:00～16:00
第3週木曜日／
9:00～16:00
第4週金曜日／
9:00～10:30(予約制)

睡眠時無呼吸外来

毎週木曜日／
13:00～15:00(予約制)

外科

ストーマ外来

第1木・第3金・第4水／
9:00～12:00(予約制)

乳腺外来

第2・第4月曜日
8:30～14:30
毎週金曜日
13:30～15:30
(完全予約制)
※乳腺外来は、完全予約
制となっておりますので、
外科外来までお問い合わせ
ください。

血管外科

第1・第3・第5月曜日／
13:00～(完全予約制)
毎週火曜日／
15:00～16:00(完全予
約制)

整形外科

スポーツ外来

毎週木曜日／16:00～

皮膚科

午後診察

毎週火曜日・木曜日／
14:30～16:30

婦人科

婦人科午後診察

毎週月曜日／
13:00～16:00

耳鼻咽喉科

補聴器外来

毎週月・火曜日、
第1・3水曜日／
15:00～(予約制)

看護職員・薬剤師募集

連絡先

企画総務課および看護部長室

TEL 0572-68-4111

JA岐阜厚生連
東濃中部医療センター

東濃厚生病院

〒509-6101 瑞浪市土岐町76-1

TEL 0572-68-4111

FAX 0572-68-8934

INFORMATION

受付時間 8:30～11:30

休 診 土曜・日曜・祝日

面会時間 13:00～20:00

■健康管理センター(人間ドック)
TEL:0572-68-4426 FAX:0572-68-9458■訪問看護ステーション あゆみ
TEL:0572-68-8625 FAX:0572-68-8635

医療

今回の
テーマ

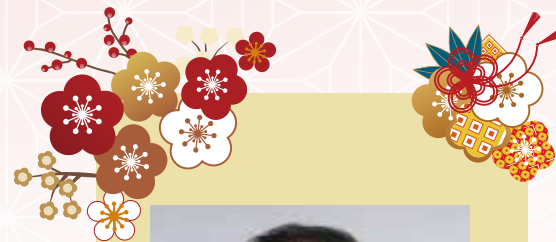
「年頭のご挨拶」

THE TOPIC WHICH IS AN NUMBER NOW

謹賀新年



岐阜県厚生農業協同組合連合会
経営管理委員会会長
堀尾 茂之



新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、本会事業につきまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

医療を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化の進展に伴う医療需要の変化への対応、医師確保困難や医師の働き方

改革、医療従事者の偏在に加え、新興感染症発生・まん延時における体制整備など多くの課題を抱えております。

本会においては、地域の実情に見合った持続可能な医療提供体制を構築すべく国・県が推進する地域医療構想の方針に沿って、県下5医療圏のうち4医療圏において病床再編・病院統合を進めてきました。令和8年2月には、東濃厚生病院(瑞浪

市)と土岐市立総合病院(土岐市)を1病院化した新病院の公立東濃中部医療センター(土岐市)が完成予定です。

社会の情勢が大きく変遷していくなかですが、本会は、医療従事者の確保・育成・定着化や医療分野のデジタル化を推進するとともに、JAグループ、行政、地域の医療機関・介護施設等との連携体制の充実を図り、地域の中核病院として「地域住民から信頼され、必要とされる病院づくりに」役職員一丸となって取り組む所存でございます。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう心よりご祈念申し上げますとともに、本会事業にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

病院の理念

歩みいる者にやすらぎを、
去り行く人に幸せを

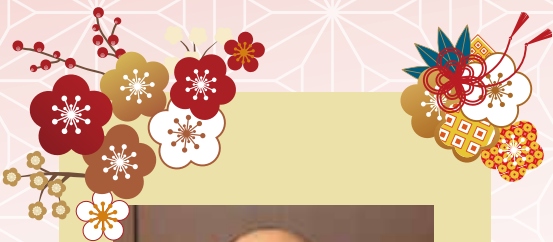
私たちは地域の皆様に愛され、親しまれ、そして信頼される病院を目指します。

行動目標

1. 私たちは日々研鑽に励み、患者さんの立場にたった質の高い医療の提供に努めます。
2. 全職員が患者さんの窓口となり、真心と笑顔で患者さんに接します。
3. 患者さんの言葉を最後まで聴き、患者さんが理解できるよう分かりやすい言葉で説明します。



東濃厚生病院
病院長
塚本 英人



新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また旧年中は何かとお世話になり厚く御礼申し上げます。昨年は元旦の能登半島大震災や豪雨被害などの大災害が発生し、今も復旧が進んでいない現状に心が痛みます。一方で大谷選手の活躍やパリオリンピック・パラリンピックでの名場面に多くの感動を頂きました。新病院に関しましてはこの1年ではぼ建物の骨格が完成し、19号線や中央線からその姿が望めるようになってまいりました。振り返れば、団塊の世代が後期高齢者になる2025年問題に対応するため2014年、国は地域医療構想を立ち

上げ、各県に地域医療構想会議を発足させ、病床機能や病床数の見直しを提言しました。それにより全国各地で病床機能変更や削減、更には病院の統廃合が起こり、当地区におきましても統合による新病院の建設が計画されました。経営母体の違い等から、統合まで非常に長い時間を要してしまいましたが、ようやく来年2月の開院にむけ順調に建設は進んでいます。

新病院においては規模の拡大と、質の向上を目指し、両市からの非常に強い要望により産科を開設し、乳腺外科、放射線治療科、リハビリテーションセンター、形成外科などを新設いたします。これにより里帰り出産を含め、地元での安心した出産が可能となります。東濃地区には常勤が

いないにもかかわらず、今後益々ニーズが高まる乳がんを含む乳腺疾患に対し、ピンクリボンなどの検診から、診断、治療まで集約して行えるようになります。また、将来増加するフレイルやロコモティブシンドロームなどに対応し、ロボット技術を導入した新しいリハビリ機器を備え、機能回復だけでなく、生活の質の向上を目指したリハビリテーションを提供できるよう準備しております。更に手術支援ロボットダビンチ、ROBO-ONEをはじめ新規の高度医療機器の導入を予定し、高度医療に対応できるようになっております。新病院では救急体制を充実させ、救急入院から、回復期リハビリテーション、更に地域包括、緩和まで、どの病期にも切れ目なく対応できる体制とし地域完結型医療をめざします。専門性を高めると同時に、総合内科、総合診療にも注力し、更に、訪問看護、巡回診療、遠隔医療を充実させ、通院困難な地域の方や、在宅ケアが必要な方にも安心できる医療を提供します。また認定看護師をはじめとする専門資格を有する医療スタッフを多数育成し、質の高い医療を提供す

る予定です。今年は既に2040年問題がスタートしております。高齢人口は高止まりし、生産年齢人口が減少し、8がけ社会となっております。労働集約型である医療業界は既に、すべての医療職種で人手不足が深刻です。今後は医療DXを駆使して問題解決を図らなければなりません。新しい医療体制のもと、地域の皆様に更なる安心と安全を提供できるよう頑張りますので引き続き宜しくご理解、ご協力の程お願い申し上げます。最後になりましたが皆様のご健勝とご多幸を心より祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



東濃厚生病院の気になるニュースをお届けします

ニュース&トピックス



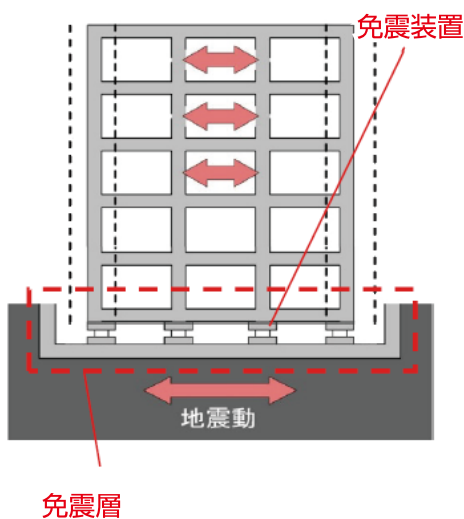
新病院建設だより

新春

新病院は、地階に免震装置を設置した免震建物です。免震建物は、一般の建物と比べて地震による激しい揺れを受け流し、建物、家具、人への被害を少なくすることができ、建物および医療機器の被害を抑えることで、大地震が発生した場合でも病院機能を維持することができます。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では多くの病院が被災しましたが、免震建物の病院は被害が少なく、早期に医療活動を再開することができました。

新病院は、大災害が発生した場合でも病院機能を維持し、医療活動を継続できる病院づくりを行っています。免震構造の採用のほかにも、2回線受電方式の採用、ライフライン途絶時に3日間病院機能を維持できる設備の整備、耐震性の高い配管による上水道の整備など、様々な対策を行っています。





TOPIC

- 令和6年1月から建設工事がはじまりました。
- 9月末から、鉄骨建て方工事がはじまりました。全体の2/3の施工が終わりました。
- 建て方工事が終わったエリアから床スラブを施工しています。

工程



新病院建設事業 現場状況
公立東濃中部医療センター建設工事を行っています

